

第20回文化庁メディア芸術祭 受賞作品展



20th JAPAN MEDIA ARTS FESTIVAL  
第20回 文化庁メディア芸術祭

会 期：2017年9月16日(土)～28日(木)  
 会 場：NTT インターコミュニケーション・センター [ICC] / 東京オペラシティ アートギャラリー他  
 主 催：文化庁メディア芸術祭実行委員会  
 対 象：一般、アート・エンターテインメント・アニメーション・マンガなどのクリエイティブ関係者  
 公式サイト：http://festival.j-mediaarts.jp/  
 総来場者数：約52,000人

■開催内容

文化庁メディア芸術祭はアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルです。平成9年度(1997年)の開催以来、高い芸術性と創造性をもつ優れたメディア芸術作品を顕彰するとともに、受賞作品の展示・上映や、シンポジウム等の関連イベントを実施する受賞作品展を開催しています。[第20回]は、世界88の国と地域から4,034点に及ぶ作品の応募がありました。文化庁メディア芸術祭は多様化する現代の表現を見据える国際的なフェスティバルへと成長を続けています。また、文化庁では、メディア芸術の創造とその発展を図ることを目的に、文化庁メディア芸術祭の受賞作品を国内外で広く紹介する多彩な事業を実施しています。海外・国内展開や創作活動支援等の関連事業を通じ、次代を見据えたフェスティバルを目指しています。

■2017年度の新規取り組みとその成果・特色など

NTT インターコミュニケーション・センター [ICC]、東京オペラシティ アートギャラリーをメイン会場としつつ、新宿駅南口エリアの大型商業施設と連携しての展覧会告知や展示・イベントの実施、新宿区を中心に大学や専門学校と連携したトークイベントなどを実施しました。

■他イベントとの連携事例やビジネスマッチングに関する企画など

展覧会での作品展示とは別に、新宿区を中心に都内13箇所において作品上映、ライブパフォーマンス、トーク、シンポジウム、ワークショップおよび告知連携を実施しました。

- ・ TOHO シネマズ新宿での受賞作品・審査委員会推薦作品の上映
- ・ サナギ新宿でのトーク
- ・ FabCafe Tokyo でのワークショップ
- ・ 笹塚ポウルでのライブパフォーマンス、トーク
- ・ 専門学校 HAL 東京 総合校舎コクーンタワーでのトーク
- ・ ブラジル大使館でのブラジル人受賞作家のトーク
- ・ 東京工芸大学でのトーク
- ・ 社会福祉法人トット基金 トット文化館での作品上映、トーク、ワークショップ
- ・ 新宿区立子ども総合センターでの作品上映
- ・ 目白大学でのトーク
- ・ ルミネ新宿での作品展示、デジタルサイネージでの告知、ライブペインティングパフォーマンス
- ・ ニュウマンでの作品上映、デジタルサイネージでの告知
- ・ J-WAVE での特別番組放送

